

## 第3回加西市環境審議会 会議録

1. 日 時：平成28年9月30日（金） 13：30～15：30

2. 場 所：加西市役所 5階 会議室(大)

### 3. 出席及び欠席委員

＜出席委員＞ 12名

＜欠席委員＞ 1名

＜事務局職員＞ 6名

### 4. 議事

- (1) 市民アンケート結果について
- (2) 子どもアンケート結果について
- (3) 現行計画の構成をベースに課題抽出について
- (4) 環境目標について

### 5. 会議資料

- 資料 1 加西市環境基本計画改定フロー図  
資料 2 市民アンケート結果  
資料 3 子どもアンケート結果  
資料 4 現行計画の構成をベースに課題を抽出  
資料 5 環境目標と方針の詳細（案）  
資料 6 審議会意見と反映方針

### 6. 会議の経過

別紙「第3回加西市環境審議会・会議の経過」のとおり

(別紙) 第3回加西市環境審議会・会議の経過

| 発信者 | 会議の経過／発言内容                                                                                                                                                            |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <p><b>1 開会あいさつ</b></p>                                                                                                                                                |
| 事務局 | <p><b>2 議事</b></p> <p>(事務局から説明)</p> <p>(1) 市民アンケート結果について</p> <p>(2) 子どもアンケート結果について</p> <p>(3) 現行計画の構成をベースに課題抽出について</p>                                                |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行計画のアンケート調査結果と事務局で整理した検証結果も含めて課題としてとりまとめている。アンケート結果の評価は事務局の判断で実施していることから、評価方法についての疑問等も含めて委員のみなさまからの多くの意見をいただきたい。</li> </ul> |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 獣害の被害額が減少している結果となっているが、被害は広範囲に及んでいる状況であり、減少していないと思う。どのデータを元に算出を行っているのか。</li> </ul>                                           |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農政課算定の過去3年の有害鳥獣の対策およびデータによるが、データの対象が限定的なものになっていることも考えられる。再度確認させていただきたい。</li> </ul>                                           |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の緑化の推進事業(アドプト事業、県民まちなみ緑化事業)は、具体的にどこの地点で行っているのか。</li> </ul>                                                                  |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現段階ではわからないので確認を行う。</li> </ul>                                                                                                |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ため池一斉点検とあるが、ため池については草刈り等による保全活動も実施されており、評価に反映されているか。</li> </ul>                                                              |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ため池の草刈り等地域の取組については、再度評価を行い、計画に反映させる。</li> </ul>                                                                              |

|     |                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 獣害被害の質問については、金額が異なるということか。</li> </ul>                                                                                    |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助金額が増えているのに、被害額が減っているのは違和感があり、県の数値かと思い、確認させていただいた。</li> </ul>                                                           |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局には再度確認していただきたい。他に質問は？</li> </ul>                                                                                      |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川の水質については市民の関心は高いと思うが、ため池の水質について、現状どのような状況なのか。</li> </ul>                                                               |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加西市では H3 年から、市内のため池の水質を定期的に調査している。近年は、有害な物質の検出や異常な数値は出ておらず、客観的なデータとしては良好な状態が保たれている。</li> </ul>                           |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転作で農業用水として使われていないため池は、水の循環が少なくなり、落ち葉等が堆積し、水質が悪化することもあるのではないかな。冬場の落水や池干しを呼びかけることで、改善することもあるのではないかなと思う。</li> </ul>         |
| 副会長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川やため池の水については、一般の人にとっては水が澄んでいたらきれいだと判断する。専門的なデータについては行政等で把握するが、この場合は見た目としてきれいさ(ごみが落ちていないも含む)を重視することが重要と考えられる。</li> </ul> |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他に意見は？</li> </ul>                                                                                                        |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作放棄地が増加しているとのことだが、平地や谷間等どのようなエリアで増加しているのか。農業振興に大きく関係すると思うが、谷間の農地は生物の生息にも大きく関わっているので確認したい。</li> </ul>                    |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 谷間、平地のいずれにおいても耕作放棄地は増えている状況である。条件がいい農地でも、担い手の減少により耕作しない農地は発生している。北条地区の市街化区域内では雑草の繁茂や虫の発生の苦情も発生している。</li> </ul>           |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「耕作放棄地がある」としてしまうと農地・水保全管理支払交付金の補助金が出なくなるので、耕作を行っていない農地と捉えていただきたい。耕作を行っていない農地については、田畑としての機能を維持するための保全を行っており、生物の重要な生きる場所となっているのではないか。</li> </ul>                                                         |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他に質問等はないか？</li> </ul>                                                                                                                                                                                  |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問 7 で満足度について「満足」「やや満足」の比率で評価されているが、「不満」「やや不満」のマイナス評価の比率はどれくらいか。</li> </ul>                                                                                                                             |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現時点ではわからないので、事務局内で再度集計させていただく。</li> </ul>                                                                                                                                                              |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「身近な広場や公園」について満足度が下がっているが、その理由についての分析はしているのか。</li> </ul>                                                                                                                                               |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現段階では十分な分析を行っていないが、今後庁内で担当部署の都市計画課と調整を行い、自然とのふれあいの項に整理させていただきたい。</li> </ul>                                                                                                                            |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境の部署は事業をもっていないので、他部署との調整が重要。今後関連部署と協議して、計画に反映させることを望みたい。</li> </ul>                                                                                                                                   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里山の保全活動の比率 1 割が低いという評価であったが、これだけいるのはむしろ多いのではないか。</li> </ul>                                                                                                                                            |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年齢層別の参加状況でみると年配者に参加が偏っており、今後若い世代の参加率向上が望まれることから、そのような評価にさせていただいている。</li> </ul>                                                                                                                         |
| 副会長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里山に関して、地域の緑税の活用を考えればいいのではないか。また、里山の整備は一度行ってもなかなか続かないので、継続的に活動を持続するための対策について検討願いたい。</li> <li>・ 放棄田が増加することにより、ヌートリアの隠れ家となり、獣害被害を深刻化することも考えられる。複数の事項を関連づけて市民に説明することを提案したい。ヌートリアについては一斉捕獲により個体数</li> </ul> |

|     |                                                                                                                                                                              |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>が減少し、河川に生息場所を戻してきているのではないかと考えられる。河川環境とも関連づけて、計画への反映をお願いしたい。</p>                                                                                                           |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>今回のアンケート結果で衝撃的だったのは市民の生物多様性の認知度の低さであり、これをどう上げていくのか検討して、計画に反映させてもらいたい。また、子どもたちの身近な自然の経験がないという現状に対して、どのような提案ができるか検討していただきたい。</li> </ul> |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>廃食用油の回収について、近頃は調理の際、食用油を出さない家庭が多いので、回収に協力する市民の比率が低いことは問題ではないのではないか。</li> </ul>                                                        |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>庁内でききとりを行ったが、最近では若い方は天ぷら等揚げ物料理自体をしなくなっている傾向がある。バイオマス事業についてはリサイクル事業に含めて計画に反映させる方向で考えている。</li> </ul>                                    |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>歩道の花壇に草が繁茂している。何のために柵がとってあるのか。管理が出来ないのであれば、自転車が走れるようにしたほうがよいのではないか。</li> </ul>                                                        |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>車道と歩道の間の部分については直接車が歩道に乗り入れないように、安全性のために設置している。</li> </ul>                                                                             |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>今頂いた意見をもとに計画骨子案を作成することが本来であるが、時間の関係上、本日この場で計画方針を審議いただきたい。骨子案については、既に事務局がまとめたものがあるので、事務局で説明いただく。</li> </ul>                            |
| 事務局 | <p>(事務局から説明)</p> <p>(4) 環境目標について</p>                                                                                                                                         |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>まだ課題が決定しない段階であるが、掲載が必要と思われる施策について意見を頂きたい。特に太陽光発電については景観、自然へ与える影響が大きく、施策にも必ず入れるべきことと考えられる。</li> </ul>                                  |

|     |                                                                                                                                                                                 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里地の自然環境は農業が継続することで維持されてきた。農業が衰退すると里地環境が悪化することが考えられる。環境基本計画であるが、農業の振興についても計画への反映を考えてもらいたい。</li> </ul>                                   |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画のどこに反映させるか？</li> </ul>                                                                                                               |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自然と共生する地域環境づくり」になる。</li> </ul>                                                                                                        |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の基本計画には獣害防止について言及されており、捕獲頭数等の目標値も設定されている。加西市においても獣害が課題として取り上げられているが、施策として出ていないのはなぜか。</li> </ul>                                       |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えられる施策について、提示資料では全ての施策取り上げていないが、獣害対策については、関連部署との調整の上で掲載について検討を行っていく。</li> </ul>                                                       |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートの自由意見についてはどのような回答があったのか。</li> </ul>                                                                                               |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由意見については審議会までに整理して示す必要がある。次回までには整理して委員に示してもらいたい。</li> </ul>                                                                           |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境教育に関して、外来種の処分についてどのような方法をとるのかを検討して、教えることができるようにする必要がある。</li> </ul>                                                                   |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来種対策ということで計画への反映の検討をお願いしたい。</li> </ul>                                                                                                |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域の多様な主体の連携づくりについて」、表題としてインパクトが弱いのではないか。もう少し、強調する表現について検討を行ってほしい。</li> </ul>                                                          |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化財が取り上げられているが、天然記念物も文化財であり、市民の生物多様性認識の向上を図る上でも、良好な自然環境の天然記念物への指定を教育委員会に働きかけてもらうことをすすめたい。網引湿原についても野生生物保護地区と二重にかけることにより市民の関心</li> </ul> |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>を得ることができるのではと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ また、今年は播磨国風土記 1300 年の節目の年であり、文化的なものや、緑、ため池等さまざまな景観の保全についても、施策として検討いただきたい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツーデーマーチは都市部だけか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 コースあり、長い方は 20km あるので都市部だけではない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの身近な自然への意識が低いことについて、子どもの環境学習として、県の教育方針では 小学校 3 年時に地域の自然、5 年時に南但馬の自然学校というカリキュラムが設定されており、4 年時が空いている状態となっている。川西市では、市の予算で 4 年時に環境の体験学習として市内の里山見学を行うようにしているが、加西市においても、4 年時に環境の体験学習をカリキュラムに取り入れることを教育委員会に働きかけることが望ましいのでないか。具体的には 3 年次に地域の身近な自然、4 年次にあびき湿原について現地で学習するのが理想的と考える。身近な自然については学校教育で教えていくことが必要。</li> </ul> |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会と相談させていただくが、加西では小 4 時にごみ焼却場と浄水場の施設見学を実施している。ただし、学校教育の中で行っているが、体験学習としては実施していない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                   |
| 会長  | <p>他に意見は？（意見なし） 今回の審議会で出た意見をふまえて計画をまとめていただき、次回審議会の 1 週間前までには各委員に素案を送付いただきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事務局 | <p>次回の審議会は計画素案を議題として、12/20 に実施予定とさせていただきます。また、アンケート自由意見と満足度の数値分析について、1 週間以内にとりまとめて各委員に送付し、いただいた意見については計画を策定する上での参考とさせていただきます。</p> <p>以上で第 3 回審議회를終了する。</p>                                                                                                                                                                                                |